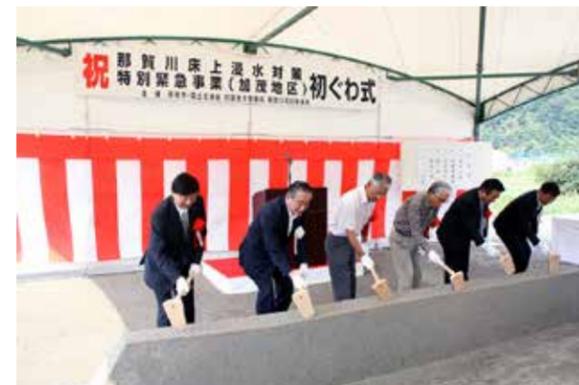




子ども達のアイドル誕生
クサガメの卵がふ化 9/27

横見保育所で、クサガメが産んだ卵がふ化しました。田のあぜ道にいたクサガメを拾って保育所で飼育していると卵を20個産卵。子ども達は約2カ月間、大切に見守ってきました。卵から15匹がふ化し、小さな命の誕生に子ども達は大喜び。「赤ちゃんのお母さんになる!」「私はお姉ちゃん!」と新しく加わった仲間を家族のように大切に育てています。



加茂地区の堤防整備工事が始まる 9/16

度重なる浸水被害に見舞われている加茂地区に堤防を整備する「那賀川床上浸水対策特別緊急事業」が着工しました(実施主体:四国地方整備局那賀川河川事務所)。事業は、那賀川本川約800メートルと加茂谷川約1,000メートルの堤防整備や樋門設置など。事業費は約64億円で、平成31年度までの完成をめざします。工事を前に初ぐわ式が執り行われ、着工を祝いました。

10/2 災害時の迅速な対応へつなぐ
「新入団員教養訓練」を実施

市消防団の新入団員教養訓練が、消防本部で開催されました。新入団員44人が参加し、敬礼などの基本的な消防訓練礼式をはじめ、関係法令や消防操作の基本となるホースの取扱を学びました。また、徳島地方気象台の清水栄一さんによる「気象庁が発表する防災気象情報の基礎知識とその効果的な利用」と題した講演が、消防団幹部および職員らを対象に行われました。



9/17 会場が感動に包まれた
ミュージカル「白雪姫」上演

阿南市合併10周年記念事業として、ミュージカル「白雪姫」(劇団東少制作)が、文化会館で上演されました。会場は、幅広い年齢層の観客で満員。公演では、7人の小人たちが観客席側から登場する場面や息をのむ戦闘場面など、圧巻の演技で観客を魅了し、感動のフィナーレへといざないました。最後に子どもたちが出演者へ花束を贈り、盛大に幕を閉じました。



「89番野球寺」のデザインを決定 10/3

野球のまち阿南推進協議会は、道の駅「公方の郷なかがわ」に設置する「89番野球寺」のデザインを決定しました。野球寺は、総会時の記念講演でスポーツジャーナリスト二宮清純さんの提言を受けたもの。バッターやグローブをイメージした必勝祈願の石碑や観客席が描かれた看板が設置されます。事業費は全額寄付金でまかなわれ、平成29年3月完成をめざします。



災害なんかに負けないぞ!
防災キャンプが開催される 9/24

災害時の対応力を高めようと1泊2日の防災キャンプが羽ノ浦公民館で行われ、小学5・6年生19人が参加しました。参加者は、ダンボールでの簡易ベッドの製作などを熱心に取り組みました。また、市職員による熊本地震被災地支援の話に真剣に耳を傾けました。加納康成さん(羽ノ浦小6年)は、「災害が起こったらみんなで協力しあいいたいです」と話していました。

10/6 平成28年度光のまち・夏まつりフォト
コンテスト入賞作品を発表

本年度の光のまち・阿南の夏まつりフォトコンテスト表彰式が阿南商工会議所で行われ、光のまちの部と阿南の夏まつりの部で入賞した14人が表彰されました。最優秀賞の「推薦」を受賞した江口ひろえさん(67歳・桑野町)は「きれいな夕焼けが訪れた貴重な瞬間を捉えられたことに感謝しました」と話していました。入賞作品は、文化会館で11月12日から2日間展示されます。



9/24 地方創生の糸口を探る
大正大学生が新野町で実習

大正大学生が、地域おこしの方策を考える地域実習を新野町で行いました。同大学1年8人は約40日間滞在し、地域おこしグループ「ワイワイ塾」に紹介された会社や場所を取材したり、地域のイベントへ参加したりして、町の持つ人や資源を把握し、地域創生への糸口を探りました。また、3年次にも新野町を訪れ、今回の実習を踏まえた地域創生の実践に取り組みます。

